



2020年10月27日

各位

会社名 株式会社早稲田アカデミー  
 代表者名 代表取締役社長 山本 豊  
 (コード番号 4718 東証第一部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 河野 陽子  
 管理本部長  
 TEL 03-3590-4011

## 第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年7月31日に公表しました2021年3月期第2四半期累計期間の業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正

## (1) 2021年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,583	百万円 111	百万円 115	百万円 △107	円 銭 △6.80
今回発表予想 (B)	11,943	332	338	96	6.08
増減額 (B-A)	360	221	223	204	—
増減率 (%)	3.1	197.9	193.1	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	12,319	780	774	428	27.03

## (2) 2021年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,881	百万円 51	百万円 265	百万円 95	円 銭 6.02
今回発表予想 (B)	11,254	295	511	319	20.17
増減額 (B-A)	373	244	245	224	—
増減率 (%)	3.4	473.1	92.4	235.1	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	11,555	658	666	379	23.97

## 2. 業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、コロナ禍の影響により、期首の塾生数が前年を下回るという厳しい状況でスタートいたしました。4月上旬より Zoom を活用した「双方向 Web 授業」を開始し、緊急事態宣言解除後には「対面授業」と「双方向 Web 授業」が選択できるデュアル形式のサービスに切り替え、学習指導の継続提供に注力してきたことにより、塾生数は当初の予想を超えるペースで順調に回復を続けております。そのような中、当社において、上半期の収益に大きく寄与する夏期講習会の売上高が計画を大きく上回ったことに加え、新型コロナウイルス感染防止のために開催を取り止めた「夏期合宿」の代替サービスとして実施した「夏期集中特訓」においても予算を超える申込みをいただきました。更に、各種選択講座等につきましても順調に推移をした結果、連結売上高は当初予想を 360 百万円 (3.1%) 上回る見通しとなりました。

費用につきましては、講座やクラスの増加等に伴って労務費及び原材料費が予算を上回るも、その他の経費については、売上原価・販管費ともに概ね予算範囲内で推移する見込みです。以上の結果、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに、前記記載のとおり当初予想を大きく上回る見通しとなりました。

また、第2四半期個別業績予想につきましても、上記と同様の理由により修正しております。

なお、通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が冬期講習会、正月特訓及び来春に向けての新年度生集客等に与える影響がいまだ不透明なところがあり、引き続き見通しについての精査を要するため、2020年7月31日の公表数値を据え置かせていただきます。今後、予想値の修正が必要と判断された場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上